

1. 事業目標達成状況の評価年月日	平成28年8月3日	最終更新:平成30年4月5日				
2. 地区名	はるえ地区					
3. 評価者	坂井市					
4. 事業目標達成状況の評価	(上段):計画 下段:実績					
事業目標	指標	事業前	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	直売所の販売収入額(千円)	8,153	(8,500) 7,913	(9,000) 7,445	(9,500) 1,256	(9,500) 74,440
	地域特産物の開発(累積)(件)	—	(—) —	(1) 8	(1) 8	(1) 8
本交付金の評価	平成26年度	農村資源保全推進対策	<p>(1)農村資源の保全・継承に向けた活動計画づくり 「十郷用水」及び「春江北部用水」の歴史・伝統を保全・継承する体系・計画づくり、疏水を活用した地域特産物の開発計画策定および、「調圧水槽」を観光資源としての活用や隣接する「ゆりの里公園」を活用したイベントの開催等、地域活性化の計画づくりについては、地元役員、農業協同組合、観光商工会、公園管理者および地方自治体を構成員とした「ゆりの里公園活性化協議会」を開催した結果、疏水のシンボルとして調圧水槽、隣接するゆりの里公園拠点に各計画を進めていく方向性が定められた。このことにより、直売所の拡大、地域特産物(開発を含む)を提供するレストラン及び、疏水に触れあえるようにする公園内の改修を含めた「ゆりの里公園改修計画」を策定し動き始めることができた。</p> <p>(2)活動計画に基づく農村の歴史や伝統技術等の調査・分析及びこれらの情報発信 「十郷用水」及び「春江北部用水」の歴史・伝統技術等PRのため、調査・分析を行い、歴史の冊子やイベントで活用できるパネル(昔の用水の写真、現在の用水の写真等)をゆりの里公園活性化協議会と連携して作成した。</p>			
	平成27年度	農村資源保全推進対策	<p>(1)農村資源の保全・継承に向けた活動計画づくり 疏水を活用した地域農産物の開発計画づくりのため、ゆりの里公園活性化協議会の構成から「特産品部会」を立ち上げ、さらに福井工業大学を部会の構成員に加え、坂井市の花、ユリをモチーフとしたゆりの根をおりませた特産品を8品目開発し、11月キャナルフェスタで来場者に試食会を行いアンケートを実施した。この開発・アンケート結果を基に、ゆりの里公園改修工事計画で建設されるレストランに提供できるよう、ゆりの里公園活性化協議会において協議を継続した。</p> <p>(2)活動計画に基づく農村の歴史や伝統技術等の調査・分析及びこれらの情報発信 平成26に作成した歴史冊子を部数1万部印刷し、坂井市春江町内小中学校及び坂井市内公園施設及び関係地区に配布・設置し、疏水の歴史・伝統技術等を知らない児童・生徒や農業に携わったことのない一般の方にもPRができた。</p>			

<p>本交付金の評価</p>	<p>平成27年度</p>	<p>農村資源保全推進対策</p>	<p>(3)活動計画にもとづく農村資源を活用した価値向上の取組、歴史や伝統技術等の普及活動及びこれらに関する情報発信 平成27年11月に疏水に触れ合うことテーマに「水祭り」(イベント名:キャナルフェスタ)を開催した(主催 坂井市 参加者約2,000名)。催しとして、「春江北部用水を巡るウォーキング」(参加者32名)、「子供の農業体験」(参加者62名)、「きれいな冷たい水」を利用した夜間かんがい米のPRのおにぎりの食べ比べ、地元野菜や地元野菜で開発したシラクッキー(白茎こぼろ使用)の販売、平成26年に作成したパネル(昔の用水の写真、現在の用水の写真等)などの掲示、福井工業大学生が企画疏水をテーマとした催し等を実施し、疏水や農村資源をPRしたことで、地域住民の関心が高まり、地元やゆりの里公園活性化協議会からも、今後も継続した開催要望が出された。 また、同水祭りにて疏水及び観光客の呼び込みのシンボルである「調圧水槽」等のライトアップ・デジタルマッピングに係るソフトを作成し上映したことにより、周辺地区のイベントでも調圧水槽でのライトアップ・デジタルマッピングの上映を取り入れたいと依頼があった。</p>
<p>事業全体の評価</p>	<p>全体総評</p>	<p>平成26年度は、毎年6月に開催されるユリフェスタおよび、当年度より実施している調圧水槽の展望イベントにより、来場者は前年度より3.5千人増加したが、直売所開催日数が減ったことにより、収入額が前年度より24万減り、1年目の850万の目標額を達成できなかった。平成27年度は、ユリフェスタ、調圧水槽の展望イベントに加え、11月にキャナルフェスタを開催したことにより、前年度より来場者数は4千人増加したが、収入額は800万にとどまり、2年目の900万の目標額を達成できなかった。 3年目の平成28年度も本活動で提案したゆりの里公園再整備が始まった為、公園全体の来客数が減ったことにより、直売所の収入額は1,256千円にとどまり、目標額を達成できなかったが、平成29年度には、販売収入額が74,440千円となり目標を達成した。 もう一方の目標である地域特産品の開発については、ゆりの里公園活性化協議会の構成から「特産品部会」を立ち上げ、さらに福井工業大学を部会の構成員に加え、坂井市の花、ユリをモチーフとしたゆりの根をおりませた特産品を8品目開発し、平成27年11月キャナルフェスタで来場者に試食会を行いアンケートを実施した。 現在は、開発した特産品の一部品目を改良を加え直売所及びレストランにて提供している。なお、ゆりの里公園活性化協議会は、福井県立大学等と協力し住民ワークショップ等を開催して「ゆりの里公園将来ビジョン」を策定して平成30年3月19日に坂井市長へ報告し活動を終了した。</p>	

活動状況写真

策定した「ゆりの里公園改修計画」
完成予定図



継続しているゆりの里公園活性化協
議会(平成28年7月6日)



ゆりの里公園の現状(H28.7月現在)
公園部改修工事



直売所建設

